

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	大和ハウスライフサポート株式会社	ホーム名	材・サット茅ヶ崎アレジデンス	ID	3030
	評価機関	株式会社 ケアシステムズ		評価日	2月22日

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	非該当	非該当	6.2.4	A	A
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	A	A
1.4.1	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.1	A	A	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	A	A	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	A	A	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	A	7.4.3	B	B
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	B
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	A	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	B	B	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	B	B	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

## 評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
2-4-3	施設では「転倒・転落の危険防止対策シート」（法人共通書式）を用いて、入居者一人ひとりのリスクを10カテゴリ30数項目にわたって分類・評価を行い、危険度の判定につなげている。観察項目、環境整備、助言や援助についての対策を確認するとともに職員間で共有し、入居者の安全管理を仕組みとして取り組んでいる。利用者一人ひとりについて想定されるケガや事故等を未然に防ぐことに役立たせ、安全性の高い施設運営につなげている。
2-4-5	施設は海岸まで約200mの場所に位置しており、大地震発生時の津波リスクに関する対策に力を入れている。特に茅ヶ崎市の津波一時避難場所にも指定されていることから、災害時に備えた設備のほか、災害時備蓄は入居者及び、職員、近隣からの避難者用も含めて3日分が用意されている。また、地域住民と協働による避難訓練も行われており、屋上階への避難や、公園での炊き出しなどに具体的な取り組みを行なっている。施設入居者だけでなく、近隣地域住民の避難所として施設の機能を地域へ還元することも大切にしている。
4-2-1	施設では職員の入居者とのコミュニケーション力の向上に力を入れており、定期的に研修を実施し職員の意識の高揚に力を入れている。また、ケアレジデンス（介護棟）では入居者一人ひとりにコンタクトパーソン（担当者）を配置し、生活歴、趣味、嗜好などについての詳しい把握に努めており、月1回は居室訪問して生活上必要なこと足りないものなどの確認や、様々な手続き代行、家族とのやり取りなど、一人ひとりに寄り添い要望に沿った支援に取り組んでいる。
4-2-2	入居者の要望に応え、運動や娯楽など多彩なレクリエーションを企画し実施につなげている。カラオケ、手芸、ウクレレ、フラダンスなどのサークル活動、ボランティアによる歌やバイオリンのコンサート、新年会や納涼祭、運動会などの行事も実施し、入居者が毎日を楽しく生き生きと暮らし続けることができるように支援している。また、オンリーワンプロジェクトでは、思い出の場所や会いたい人など一人ひとりの夢を叶えることを目標にしており、入居者の思いの把握と実現にむけての取り組みをはじめている。
7-5-4	一人で外出することが困難な入居者にむけて、ケアプラン上で目標設定を行い、家族と連携をとりながら戸外に出掛けられるように支援している。買い物や外食などでは、これまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないように、本人の希望の場所へ出かけており、地域の一員としての生活が続けられるように取り組んでいる。また、法人として取り組んでいる5館合同旅行プロジェクトでは、介護タクシーを利用し職員同行のもと近隣の温泉旅行などが実施されており、入居者が目標をもって楽しみに暮らせるような支援につなげている。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
1-1-1	法人のホームページ上には、「企業理念と企業倫理」「企業倫理遵守に関する行動基準」を表明し、入居希望者に向けて経営姿勢の周知を進めている。ただし、ネオ・サミット茅ヶ崎のホームページからのリンク設定については、入居者、入居希望者などにとって分かりにくいため、直接リンクをできるようにするなど分かりやすさを工夫することも望まれる。
2-1-2	生活、介護、その他の業務については、業務毎の事業計画が策定されている。食事については生活面の事業計画の中に明示されており、月2回のセレクトメニューや旬の御膳などの提供、食事アンケートの実施など食事を楽しんでもらえるような工夫がされている。入居者にとって食事は重要な要素であることから、事業計画においても独立した項目を設けて詳しく掲載し、さらなる満足度の向上に努められたい。